

## 伝統的な工業を守り続けるためのアイデアを考えよう!

### ①作り手と買い手の立場で考えを出し合う

越前和紙や越前漆器など伝統的な工芸品作りの中でより売れるもの、より買いたいものを作り手(生産者)と買い手(消費者)の立場から考え、その理由について考えました。

### ②班で考えを発表しながら案を絞り込む

それぞれが考えた案をお互いに紹介し合いながら、実現までの時間やかかる費用を軸としたマトリックスの中で位置付けました。その時に生産者側は青色、消費者側は赤色の紙でアイデアを分類して貼り付けていきました。その上でどれが一番効果的なアイデアかを話し合いながら、班の意見として絞っていきました。

### ③班ごとにまとまった案を発表し、質疑応答する

各班の考えを聞き終えて、実現までの時間やかかる費用などの面から質問を繰り返したり、反対意見に反論したりしました。その上で自分たちの考えをとらえ直し、再度自分の考えを練り上げました。

### ④学級全体で実現可能な案を見つけ出し、深める

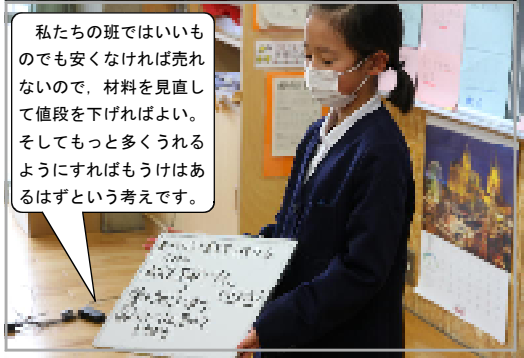
最後に自分ならばこのアイデアを勧めたいというアイデアを提言レポートにまとめ、学級の中で発表し合って終わりました。

### ② 生産・消費の立場で考え絞り込む



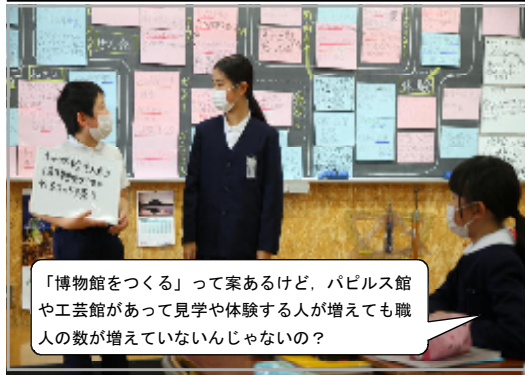
若い人が気軽に体験できる場所や学校があれば、伝統工業を仕事にしたいと思う人が増えていいんじゃないかな?

### ② 班の考えを初工作で発表



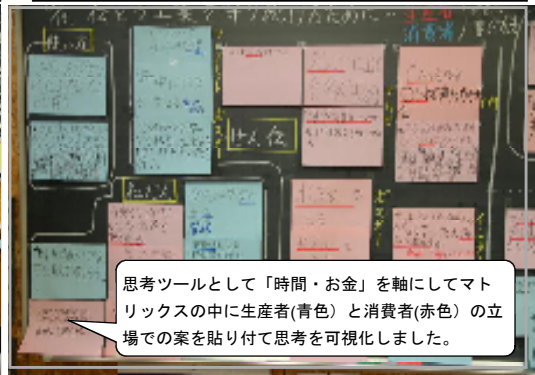
私たちの班ではいいものでも安くなければ売れないので、材料を見直して値段を下げればよい。そしてもっと多く売れるようにすればもうけはあはずという考えです。

### ③発表後の質疑応答と意見交流



「博物館をつくる」って案あるけど、パピルス館や工芸館があって見学や体験する人が増えても職人の数が増えていないんじゃないの?

### ④ 座標軸グループングでの思考可視化



思考ツールとして「時間・お金」を軸にしてマトリックスの中に生産者(青色)と消費者(赤色)の立場での案を貼り付けて思考を可視化しました。

自分の考えをグループで話し合おうことで考えを練り合い、より実現可能なアイデアにつなげることができました。

(実践者 教諭 宇野 泰裕)

### 〈感想〉

- ・作るのに多くの手間と高い技術が必要な分、どうしても値段が高くなる伝統的な工芸品だけど、このままなくなってしまうと思います。
- ・普段の生活の中でも使える伝統的な工芸品が多くなれば、よいものなら高くても買う人も増えるんじゃないかと思います。
- ・福井県は伝統的な工業がさかんなので、もっと全国にアピールすればいいと思う。